

連続してリファレンス点復帰を実行すると、SM2017:ストロークオーバー(+Z)が発生する

連続してリファレンス点復帰を行うとSM2017:ストロークオーバー(+Z)が発生します。連続してリファレンス点復帰をしなければ良いため次に呼び出すサブプログラム先頭のリファレンス点復帰を消すかコメント化してください。

サブプログラム1と2を呼び出す
メインプログラム

```
(main)
M98P0001;
M98P0002;
M30;
```

サブプログラム1

```
(sub 0001)
G91G28Z0;
G90;
G01Z-5.0F100;
G01X10.0F500;
G00Z10.0;
G91G28Z0;
G90;
```

サブプログラム2

```
(sub 0002)
G91G28Z0;
G90;
G01Z-5.0F100;
G01X-10.0F500;
G00Z10.0;
G91G28Z0;
G90;
```

変更



```
(sub 0002)
(G91G28Z0);
G90;
G01Z-5.0F100;
G01X-10.0F500;
G00Z10.0;
G91G28Z0;
G90;
M99;
```

リファレンス点復帰の
ブロックをカッコで括り
コメントへ変更